

不適合情報

2026年7月24日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックをご覧ください。
https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 1件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	6号機	中央制御室において、制御棒操作監視系軽故障警報の発報を確認した。調査の結果、制御棒の監視信号入出力装置基板(B系)の故障と推定。制御棒位置に変化なし。なお、A系に異常はなく、制御棒の監視ができているため影響なし。当該基板を交換済み。	2026/07/20	

4. Non-CAQ 3件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	2号機	中央制御室防災監視盤に、原子炉建屋付属棟2階(非管理区域)クリーンアクセス通路北側の中継器断線警報の発報を確認した。ただちに現場を確認し炎や煙がないことから、感知器の誤作動と推定。当該感知器を交換し復旧済み。	2026/07/18	
2	6号機	自主検査の品質保証検査成績書において、検査確認項目(1項目)が印刷されていない状態で承認されていたこと確認した。調査の結果、検査成績書を印刷する際に抜けたものと判明。なお、保存データには全検査確認項目の記載があることを確認済み。当該事象による検査の有効性への影響評価を行い、問題ないことを確認済み。	2026/07/01	
3	7号機	中央制御室防災監視盤に、原子炉建屋地下2階(管理区域)制御棒駆動機構補修室の熱感知器断線警報の発報を確認した。調査の結果、近傍で実施していた穴あけ作業を行っていた協力企業作業員が熱感知器と接触したことによるものと推定。当該検知器を点検し復旧済み。	2026/07/22	